

事業所名		おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート名護やぶ(放課後等デイサービス)				公表日	令和 8 年 2 月 27 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	活動内容に応じてテーブルの配置を換えたり広く利用できるようにしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	活動内容に応じて職員の配置を調整している	人員配置基準は満たしているが、障害特性や、子どもの成長、個別支援が丁寧に行えるように業務の効率化を図る目的で人員配置を必要とする	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	玩具コーナー等、片づけしやすいように写真を貼ったり、ルールを提示したり可視化している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	毎日の清掃、使った後の消毒などを欠かさずおこなっている。換気などもこまめに行い、子ども達が過ごしやすい環境を整えている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	個別支援により適した環境整備を行っている。パーティーションで仕切りを設けるなど工夫している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0	職員間で目標や振り返りを行い共有し支援の見直しをおこなっている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	保護者からの評価表や意見を伺い業務改善に繋げている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	職員会議等で意見交換を行い、支援内容の改善に繋げている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	評価結果などを見直し支援の質の向上に繋げられるようにしている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	内部研修などを定期的に行い職員の質の向上を図っている	外部研修なども多く取り入れ職員の研修内容を共有して充実させていきたい	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	支援プログラムを作成し公表している。事業所内にも分かりやすく提示している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	アセスメントを基に子どもと保護者のニーズを踏まえた支援計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	職員間で共有しながら支援内容を振り返り意見交換等を行いながら検討している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	計画に基づき計画に沿った支援を行えるように努めている、今後も定期的な見直しをおこなっていく		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	障害特性や行動観察など、記録を通して子どもの状況を把握している		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	様々なねらいを踏まえうえで内容を検討し、児童の状況に応じた支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	職員間で共有しながら意見をだしあい立案している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	プログラムが固定化しないように職員間でアイディアを出している。また児童の興味や成長に応じて活動の内容を見直すようにしている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	児童の特性に応じて個別活動や集団活動等を組み合わせ支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	支援前に職員での情報共有を行い、役割分担の確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	支援後には振り返りを行い、気づいた点を、報告・連絡・相談ができています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	日々の支援内容を記録している。必要に応じて見直しをしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	定期的にモニタリングを行い計画書の見直しをおこなっている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0	基本活動を組み合わせ支援をおこなっている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	自己選択ができるように活動内容を工夫し支援している	体験・経験を増やして、できた！やりたい！という気持ちを自信にかえられるような支援ができるように努める
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	主に児発管が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	保育園や学校、関係機関と連携し情報共有を行いながら支援している	必要に応じて連携できるように体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0	学校迎え時必要に応じて情報共有を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	1	必要に応じて連携している	対象となる児童が現在いない為、事例があれば積極的に相互理解に努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	3		事例がある場合は、積極的に情報を提供するなど努める
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	3		連携を図れるように研修などの機会があれば積極的に参加する
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	0	近隣の児童デイの子ども達と行事や公園などのお出掛けを合同で行ったり地域との関わりを意識しながら支援を行っている	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2	必要に応じて参加する。	積極的な参加について今の課題である。機会が少なく参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	日々の支援の様子について、送迎時や連絡帳などを通して保護者に伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	3		機会が少ない、今後積極的に参加したい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	しっかりと説明を行い事業所内でも公表し提示している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	家族の意向、子どもの意思を尊重しながら支援計画を作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	計画を作成した際には保護者の同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	悩みや相談があった際には相談してもらいやすい雰囲気作りや関係性を築けるように心がけている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3	今後、保護者交流会などの場が図れるように機会を設ける	保護者会や保護者交流会など設ける機会が少ない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	規定を元に対応している。又、事業所に意見箱を設置している。	迅速かつ適切に対応できるように努める
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	2	活動予定表などは毎月定期的に発行している。急な連絡などはその都度発行している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	個人情報や、プライバシーなどの取り扱いには十分に気を付けている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	リトムを中心に情報交換を共有、送り時、引き渡しの際に情報提供など、子どもや保護者の状況に応じて配慮を心がけている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	0	地域で行っているイベントなど、寺社などに参拝にいたり行事ごとに積極的に参加している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	マニュアルなどを研修時などに活用、定期的な訓練を年間を通して行い、職員などの研修も行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	事業所内で避難訓練を行い万が一に備え迅速に行動出来るように職員研修を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0	利用前に健康状態等、連絡帳を通して確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	アセスメントツール等を利用し、職員間でアレルギー児童の把握を行い共有し対応している。	現在、強いアレルギーの児童はいないが必要に応じ対応を行う
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	定期的な研修や訓練を行い自己啓発に努めている	安全計画のマニュアルや研修などを通して安全管理には十分に気をつける
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	周知できている	安全計画を作成し、保護者の緊急網や避難場所など計画に基づく取り組み内容も今後も細かく周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	事例が発生したら、責任者を中心に再発防止の話し合いを行い、対策を行っている	ヒヤリハットの記入を徹底し、振り返りし再発防止に向けた対策を行う
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	定期的な研修を実施している	研修などを通し適切に対応ができるように常に心掛けている
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	サービス計画に記載し、しっかりした指針を元に行っている	身体拘束などを行う児童はいないが今後このような事例があれば十分に説明し了解を得て対応する	